

徳島市立中学校制服のあり方検討委員会だより 第3号

制服のあり方に関するアンケート調査の結果をもとに、今後の中学校制服のあり方を検討するうえで論点整理と、今後の方針について意見交換を行うため、10月22日に第2回検討委員会を開催しました。検討の結果を踏まえ、徳島市教育委員会の考えを基本方針としてとりまとめました。

協議内容

◆今後の中学校制服のあり方について

- | | |
|-------------------------------------|---------------------|
| 論点1 制服の必要性は | 論点5 標準制服のスタイルをどうするか |
| 論点2 制服を変える必要性があるか | 論点6 標準制服の導入時期は |
| 論点3 標準制服の導入是非について | 論点7 従来の制服の取扱いをどうするか |
| 論点4 標準制服を導入する場合、
優先・配慮すべきポイントは何か | 論点8 導入方式をどうするか |

◆徳島市の標準制服について

◆サポートメーカー選考会について

委員からの意見(一部抜粋)

◆今後の中学校制服のあり方について

<制服の必要性について>

- ・思った以上に、皆さんが制服の必要性を感じている。
- ・価格に関する意見が多いので、価格が抑えられると制服があってもよいと思う。

<制服を変える必要性があるか>

- ・暑さ寒さへの対応や動きやすさ、多様性への観点から、見直す必要性があると感じている割合が非常に高いことから、前向きに検討すべきである。

<標準制服の導入是非について>

- ・標準制服について具体的なイメージができていない人が多いと思うので、周知が必要である。
- ・各学校の識別が困難になるといった意見に対し、対応が必要である。

<標準制服を導入する場合、優先・配慮すべきポイントは何か>

- ・標準制服を導入する場合、各学校で制服を変えるよりも価格が安くなるという点が利点であるため、価格を抑えることは重要である。
- ・カーディガン等について、色のみを指定して市販品も着用可能とすることも検討してほしい。

<従来の制服の取扱いをどうするか>

- ・従来の制服と標準制服を選択できる期間が長いほうがよい。

今後の方針

検討委員会としては、「標準制服の導入準備を進めていくこととし、皆さんに納得いただけるよう説明を尽くしていく」という方向性を確認しました。導入時期は令和9年4月を予定しており、今後は、標準制服のデザイン決定や標準制服導入後の運用等の支援を行うサポートメーカーを選定し、基本デザイン提案や各学校の標準制服導入の意向確認を行う予定です。



徳島市立中学校「制服のあり方」に関する基本方針

今後、この基本方針をもとに、多様な性への配慮、保護者の負担軽減、機能面の向上等を勘案して、市立中学校共通の「徳島市版標準制服」の導入に向けて準備を進めることとする。

1 制服の必要性について

アンケート調査結果を踏まえ、「制服は必要」と整理する。

2 制服を見直す必要性について

国の方針やアンケート調査結果等を踏まえ、「見直す必要性がある」と整理する。

3 標準制服の導入是非について

アンケート調査結果等を踏まえ、「徳島市立中学校共通の制服「標準制服」の導入準備を進める」ことに決定する。

なお、導入にあたっては、より多くの関係者から理解が得られるよう、学校の識別が難しくなるなどの不安材料は可能な限り解消に努めるとともに、標準制服のメリット等の適切な周知に努める。

4 標準制服のスタイル及び配慮事項

国の方針やアンケート調査結果等を踏まえ、次のとおり整理する。

【主な事項】

- 冬用の上衣はブレザー型とする
- 夏用の上衣はポロシャツ及びワイシャツとし、生徒自身が選択できるようにする
- 下衣はスラックス、スカート及びキュロットスカートとし、学校や生徒による選択を可とする
- 基本となる色は紺色系、黒色系、灰色系のいずれかとする
- 夏用・冬用ともに、各種アイテム（ネクタイ、リボン、ワッペン等）を使って学校の区別ができる提案を受け付けることとする
- 暑さ寒さへの対応、動きやすさにも配慮し、快適に学校生活を送ることができるもの
- 汚れが付きにくく落としやすいなどの機能があり、家庭用洗濯機で丸洗い可能で、しわになりにくい等、家庭でのケアがしやすい素材であること
- 現行を上回らない、もしくは現行の保護者負担が増えない価格設定を目指すものとする

5 標準制服の導入時期等

徳島市の標準制服は令和9年4月からの導入を目指す。

ただし、標準制服採用の是非および導入時期、着用を認める学年等については、各校において判断するものとする。

6 従来の制服の取扱い

アンケート調査結果を踏まえ、徳島市の標準制服は、これまでの詰襟学生服・セーラー服に加わる「もう一つの選択肢」として扱うこととし、従来の制服から標準制服への一斉更新は行わないものとする。

7 導入方式について

検討の結果、「各社縫製方式」を採用する。

8 導入準備・スケジュール

標準制服の導入にあたり、デザインの決定や制服メーカーに開示する仕様書の作成および導入後の運用等の支援を行うサポートメーカーの選考を、公募型プロポーザル方式により実施する。